

第1号事業

平成26年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-1	
事業名	郷土資料の調査収集・活用			担 当 課	学芸課
				変更内容	事業統合
目 的	1. 区民共有の財産である郷土資料を未来に継承していくために、新宿区に関する郷土資料を継続的に調査・収集し、必要な整理・整備を行い、適切な環境下で保存していく。 2. 資料を展示や事業等で積極的に活用していくため、整理・修復とともに活用しやすい環境の整備を行う。また、博物館所蔵の写真・映像資料等をデジタル化し、劣化を防止するとともに保存管理体制を整える。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	500	△ 500	部	経常増減の部
自主財源	0	2,754	△ 2,754	大科目	事業費
区補助金	22,732	22,301	431	種別	補助事業
経常収益計	22,732	25,555	△ 2,823	(単位:千円)	
事業費	4,084	6,931	△ 2,847		
人件費	18,648	18,624	24		
経常費用計	22,732	25,555	△ 2,823		

事業の計画

1 実施内容(予定)

「写真・映像等資料の整理・活用事業」を統合

- (1) 所蔵資料の適正な整理・保管を行う。
- (2) 閲覧図書 of 修理製本計画を基に整理や修理を行い、資料の積極的な利用を促進する。
- (3) 来館者・電話等へのレファレンス、及び館蔵資料の貸出業務を行う。
- (4) 写真資料データベースと、検索機能付き公開用写真資料デジタルアーカイブの運用を行う。

2 成果指標

公開用デジタルアーカイブで閲覧できる写真の増数/180枚(平成24年度実績:100枚)
(平成26年度中に閲覧可能総数300枚、平成27年度には500枚とする)

3 実施上の課題

- (1) 資料を積極的かつ有効に活用するため、小中学校へのハンズオン等の活用周知を行う。
- (2) 所蔵資料展や学校教育の中で、さらに所蔵資料の活動を積極的にすすめる。

4 顧客満足度の向上方策

平成25年度からレファレンス及び所蔵資料の貸出業務の窓口担当者を定めてきたが、これまで以上にスムーズかつ効率的に業務が遂行できるよう、窓口担当者のスキルアップを図る。

5 実績

	実施内容
平成21年度	錦絵の修復(238点)。音声資料のデジタル化(368本分)。レファレンス3,619件。
平成22年度	戦前の地図の修復(5点)。林芙美子関連資料の修復(9点)。レファレンス3,384件。
平成23年度	出土品の修復(2点)。小学校所蔵資料の複製(1点)。レファレンス3,948件。
平成24年度	所蔵資料の修復(9点)。小学校所蔵資料の修復(2点)。閲覧用図書の修復(36点)。レファレンス3,948件。写真データベース登録総数5,483点(2,000点を追加入力)。音声資料20点(2,200分)の活字化。新宿歴史博物館常設展示紹介DVD作成、林芙美子記念館内部の映像記録、文化財の撮影。

6 対前年度予算増減説明

定点撮影・地域事業映像保存委託終了による委託費の減

根拠法令	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成元年度
------	--------------------	------	-------

平成26年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-2	
事業名	展示会の開催			担当課	学芸課
				変更内容	-
目 的	1.新宿の歴史・文化に理解を深めるため、常設展示で取り上げていないテーマに関して展示会を行う。 2.区民等に新宿の歴史・文化に接する啓発を行うため、普段は展示・公開していない博物館の所蔵資料を公開する。 3.多様な機関との連携構築による展示会を開催する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	33,215	33,126	89	大科目	事業費
経常収益計	33,215	33,126	89	種別	補助事業
事業費	11,009	11,073	△ 64	(単位:千円)	
人件費	22,206	22,053	153		
経常費用計	33,215	33,126	89		

事業の計画

1 実施内容(予定)

(1) 特別展

- ① 「高須藩松平家」平成26年9月13日(土)～11月24日(月) 69日間
- ② 「新宿の縄文人」平成27年3月7日(土)～3月31日(火) 23日間(全会期:平成27年3月7日(土)～5月6日(水) 57日間)

(2) 所蔵資料展

- ① 写真展「新宿 昭和40年代」平成26年4月1日(火)～4月13日(日) 12日間(全会期:平成26年2月1日(土)～4月13日(日) 64日間)
- ② 「高田敏子生誕100年展」平成26年4月26日(土)～6月15日(日) 47日間
- ③ 「新宿ができたころ」平成26年6月28日(土)～8月31日(日) 61日間
- ④ 写真展「新宿 昭和50-60年代」平成26年12月6日(土)～平成27年2月22日(日) 67日間

2 成果指標

延べ観覧者数/17,000人(平成24年度実績:14,839人)

3 実施上の課題

- (1) 区民の共有財産である所蔵資料を活用した歴史・文化の普及と多様なメディアを利用した積極的PRを行う。
- (2) 関連イベントの開催を含め、より魅力的な展示を企画・実施する。
- (3) 所蔵資料展は、資料の調査と共に、収蔵庫の整理を念頭におきながら実施するよう努める。
- (4) 観覧者数を常に把握し、展示期間中も観覧者増加のための周知活動を行う。

4 顧客満足度の向上方策

- (1) 文字の大きさを高齢の方にも見やすい大きさにする等、展示・陳列を配慮する。
- (2) より多くの区民に観覧してもらうため、効果効率的な周知方法を考え実行する。

5 実績

平成24年度

- (1) 特別展「中村彝展-下落合の画室-」平成25年3月17日(日)～31日(日)14日間 延べ観覧者数:948人
- (2) 協働企画展
 - ① 「新宿区立小学校-受け継がれた学び舎の宝-」4月1日(月)～14日(日)13日間 延べ観覧者数:848人
 - ② 「新宿を支える企業の歴史」10月27日(土)～12月24日(月・祝)54日間 延べ観覧者数:2,431人
- (3) 所蔵資料展
 - ① 「未来に託すもの-近年寄贈資料の中から-」4月28日(土)～6月10日(日)42日間 延べ観覧者数:1,712人
 - ② 「用の美-提重と携行品-」6月16日(土)～8月19日(日)61日間 延べ観覧者数:2,758人
 - ③ 「古写真で見る文化財・史跡」8月25日(土)～10月14日(日)48日間 延べ観覧者数:2,185人
 - ④ 写真展「記憶の中の新宿」平成25年1月12日(土)～3月3日(日)47日間 延べ観覧者数:3,957人

6 対前年度予算増減説明

図録作成の減による印刷製本費の減

根拠法令	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成元年度
------	--------------------	------	-------

平成26年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発			事業・枝事業番号	1-3
事業名	文化財等の保存・公開			担 当 課	学芸課
				変更内容	事業統合
目 的	<p>1.保護保存、普及活用に寄与するため、昭和31年に国史跡に指定された「江戸城外堀跡」の普及啓発活動を実施する。また、大正11年に国史跡に指定され、昭和50年より新宿区が管理している「林氏墓地」の公開と維持管理を行う。</p> <p>2.高田馬場流鏑馬(昭和63年、新宿区無形民俗文化財に指定)を主催する高田馬場流鏑馬保存会への支援・協力を行うことにより、保存・継承・普及に寄与する。</p> <p>3.歴史・文化資源の保護と活用を図るため、区内の文化資源・産業の実態を展示公開しているミニ博物館の支援を行い、地域文化の核とする。</p>				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	248	△ 248	部	経常増減の部
区補助金	6,411	6,210	201	大科目	事業費
経常収益計	6,411	6,458	△ 47	種別	補助事業
事業費	5,316	5,360	△ 44	(単位:千円)	
人件費	1,095	1,098	△ 3		
経常費用計	6,411	6,458	△ 47		

事業の計画

1 実施内容(予定)

「国史跡の普及啓発」「高田馬場流鏑馬の公開」「新宿区伝統芸能フェスティバル」「ミニ博物館の支援」を事業統合

- (1) 国史跡「林氏墓地」: 林氏墓地の公開(3日間)、林氏墓地内樹木の剪定及び除草、林氏墓地内墓石現状調査の実施
- (2) 高田馬場流鏑馬: 10月13日(月・祝)14時～、都立戸山公園箱根山地区
主催 高田馬場流鏑馬保存会
後援 新宿区、新宿区教育委員会、東京都教育委員会(いずれも予定)
協力 穴八幡宮、新宿歴史博物館
- (3) ミニ博物館: パンフレットの増刷(在庫僅少なもの)、看板等設備の修繕、伝統工芸関連講座等でのミニ博物館との連携、博物館ミュージアムにてミニ博物館商品の販売を行う。
- (4) 伝統芸能の舞台上演による普及の機会を提供する。

2 成果指標

- (1) 林氏墓地の公開: 参加者数/250人(平成24年度実績:248人)
- (2) 高田馬場流鏑馬: 観覧者数/3,500人(平成24年度実績:3,700人)

3 実施上の課題

- (1) 林氏墓地の公開は、PRを強化するとともに、周囲の文化財や関連する場所等と連携し、見学者の増加を図る。
- (2) 林氏墓地の墓石、樹木環境整備について、新宿区との協議を行う。
- (3) 高田馬場流鏑馬では、毎年3,500人を超える観覧者が集まるため、安全性を重視した運営を行う。
- (4) ミニ博物館を身近な文化資源として一層の活用・周知を図る。

4 顧客満足度の向上方策

- (1) 林氏墓地の公開についてより多くの区民に参加してもらうため、効果的・効率的な周知方法を考え実行する。
- (2) 林氏墓地の公開に従事するボランティアのスキルアップを図るため、事前に研修を行う。

5 実績

各種講座参加人数

(単位:人)

	江戸城講座	江戸城史跡めぐり	林氏墓地公開	林氏史跡めぐり	高田馬場流鏑馬	合計参加人数
平成21年度	-	-	315	41	3,700	4,056
平成22年度	362	54	340	31	3,700	4,125
平成23年度	538	66	266	34	3,700	4,066
平成24年度	408	68	248	55	3,700	4,071

6 対前年度予算増減説明

内容精査による消耗品費の減

根拠法令	文化財保護法、新宿区文化財保護条例、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	昭和54年度
------	---------------------------------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発			事業・枝事業番号	1-4
事業名	講座・講演会の開催			担当課	学芸課
				変更内容	-
目 的	1.歴史や文化財に興味を持ってもらい、学ぶことの楽しさを体験することで、親しみやすく身近な博物館へつなげる。 2.機会と場の提供を行い、歴史や文化に対し学ぶきっかけづくりを行っていく。 3.受講者のニーズに合ったテーマを設定し、座学・実技・見学等バランス良くバリエーションのある内容・形態で構成し、参加者満足度を高める。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	1,299	1,204	95	部	経常増減の部
自主財源	230	305	△ 75	大科目	事業費
区補助金	274	275	△ 1	種別	自主事業
経常収益計	1,803	1,784	19	(単位:千円)	
事業費	1,529	1,509	20		
人件費	274	275	△ 1		
経常費用計	1,803	1,784	19		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 古文書講座 初級・中級(各全5回 定員60人 2,000円)
- (2) 歴史講座
 - ①「目白文化村」(全2回 定員60人 1,000円)
 - ②「新宿の藩邸」(全5回 定員60人 2,000円)
- (3) 史跡関連講座
 - ①江戸城講座(全5回 定員60人 2,000円)
 - ②江戸の朱子学(全2回 定員60人 1,000円)
- (4) 学芸員と学ぶ新宿の歴史
 - ①新宿の富士講(全2回 定員60人 500円)
 - ②林芙美子(全2回 定員60人 500円)
 - ③新宿の縄文人(全2回 定員60人 500円)
- (5) 伝統の世界
 - ①講談入門(定員100人 1,000円)
 - ②投扇興(2回 定員40人 500円)
 - ③掛軸づくり(定員30人 材料費+500円)
 - ④篆刻づくり(定員30人 材料費+500円)
- (6) 所蔵資料展開関連講座(6回 定員60人 500円)
- (7) 近代史講演会(定員60人 500円)
- (8) 中高生からわかる世界一楽しい歴史(定員30人 高校生以下無料、一般500円)
- (9) 夏休み子供イベント(勾玉づくり、編布づくり、イラスト講座、都電車庫見学会等)
- (10) 絵手紙講座(2回 定員20名 500円)
- (11) 協働講座・講演会(四谷文化ネットワーク、東京堂、NHK、漱石山房等)

2 成果指標

延べ受講者数/2,350人(平成24年度実績:1,841人)

3 実施上の課題

受講者アンケートの結果を反映して、講座内容や受講方法を改善する。

4 顧客満足度の向上方策

新しい講座内容を取り込む等、内容に幅を持たせた企画を行う。

5 実績

年度	講座数	定員	延べ受講者数
平成24年度	15講座	定員890人(延べ1,910人)	延べ1,841人
平成23年度	11講座	定員740人(延べ2,420人)	延べ1,712人
平成22年度	20講座	定員940人(延べ2,440人)	延べ2,251人

6 対前年度予算増減説明

実績に基づく諸謝金の増

根拠法令	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成19年度
------	--------------------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発			事業・枝事業番号	1-5
事業名	歴史文化探訪			担当課	学芸課
				変更内容	-
目 的	1.新宿の持つ歴史や文化財に加えて、自然や地勢、地域の特性など有形、無形の地域の文化・観光資源を再発見し、新たな新宿の魅力を区民らに知ってもらおうとともに、区内外へ向け積極的に情報発信していく。 2.新宿の魅力やまちへの愛着を深めるため、外来者や外国人に向けても積極的に情報発信する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	260	180	80	部	経常増減の部
自主財源	△ 102	△ 28	△ 74	大科目	事業費
区補助金	195	197	△ 2	種別	自主事業
経常収益計	353	349	4	(単位:千円)	
事業費	158	152	6		
人件費	195	197	△ 2		
経常費用計	353	349	4		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 新宿区内 4回
- (2) 新宿区外(新宿区と隣接、関連する地区) 2回
- (3) 落合の追憶 2回
- (4) 関連史跡めぐり 2回
- (5) 史跡ボランティアによる企画、運営を推進する。
- (6) 協働イベント等での史跡めぐり(四谷文化ネットワーク、漱石山房等)

2 成果指標

延べ参加者数/520人(平成24年度実績:496人)

3 実施上の課題

- (1) 平日の実施、テーマ性を持たせた企画等を新たに展開していく。
- (2) 所蔵資料展、企画展等に合わせた史跡めぐりや、新宿区外の関連史跡めぐりを実施する。
- (3) 新たなコースを選定する。

4 顧客満足度の向上方策

参加者および従事ボランティアの声をもとに、新宿の歴史に関連する区外のコースも増やしていく。

5 実績

年度	回数	参加者数	平均参加者数	内容
平成24年度	6回	延べ496人	82.7人	①『江戸名所図会』を歩く-角筈・淀橋編 ②四谷寺町を歩く ③徳川将軍の菩提寺-芝増上寺 ④大名屋敷を歩く ⑤『鎌倉街道』を訪ねて ⑥宿場の名残りを歩こう-千住宿
平成23年度	6回	延べ401人	66.8人	①広重の描いた世界を訪ねる ②軍師・剣豪の道をたどる ③芝増上寺と徳川家 ④江戸の文化と文人たちを訪ねて ⑤新宿のルーツ『内藤新宿』を歩く ⑥江戸市中引回し道

6 対前年度予算増減説明

-

根拠法令	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成22年度
------	--------------------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-6	
事業名	学校等への教育活動支援			担 当 課	学芸課
				変更内容	-
目 的	1.新宿区内在学・在住の児童・生徒が、新宿区の歴史や文化に対する興味と親しみを深め郷土愛を育むため、学校単位での博物館利用を進める。 2.区内の小中学校と連携・協力し、児童・生徒の地域学習・歴史学習への理解を深める取り組みを推進することで、学校の教育活動を支援する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	2,282	2,307	△ 25	大科目	事業費
経常収益計	2,282	2,307	△ 25	種別	補助事業
事業費	433	473	△ 40	(単位:千円)	
人件費	1,849	1,834	15		
経常費用計	2,282	2,307	△ 25		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 保育園、幼稚園、小中学校からの社会科見学、職場体験の受け入れを行う。
- (2) 新宿の歴史や博物館資料について、学校に対するレファレンス協力を周知する。
- (3) 学校授業へ貸出用博物館資料の貸出を行う。
- (4) 区立小学校の新3年生に「小学生向けリーフレット」を配布する。
- (5) 区立中学校の新1年生に「中学生向けリーフレット」を配布する。
- (6) 貸出用博物館資料と体験プログラムを充実させる。
- (7) 新宿の歴史・文化に関する新たな学校授業メニューの提案と、学芸員による出張授業を行う。
- (8) インターンシップ、学芸員実習の受け入れを行う。
- (9) 博物館での子ども向けプログラムを実施する。

2 成果指標

連携学校数/40校(平成24年度実績:38校)

3 実施上の課題

- (1) 保育園、幼稚園、小中学校の社会科見学利用促進、特に中学校の利用件数増加に向けて、実施前年度の1~3月に区教育委員会等と調整を行う。
- (2) 各時代、テーマに合致した体験用資料の増加と整備、及び博物館の展示や資料を活用した、わかりやすく適切な講義が行える人材を育成する。
- (3) 資料を通じて生活史、体験を伝えるボランティアガイドの導入と育成を行う。
- (4) 小中学校への事業提案メニューやハンズオン等の周知を行い、学校教育の中で博物館資料の活用を充実させる。

4 顧客満足度の向上方策

- (1) 学校等の教育機関が利用しやすい体制づくりを行うとともに、直接学校等に博物館の活用方法を案内する。
- (2) より多くの学校に利用してもらうため、幼稚園、保育園への周知を行う。

5 実績

平成24年度

年度初めに「新宿歴史博物館活用の手引き」(2部)を区立小学校全校に配布(29校)

社会科見学・職場体験・職場訪問等の受入:小学校20校1,033人(児童953人、教諭80人)

中学校10校76人(生徒75人、教諭1人)

学校授業への貸出用資料の貸出及び出張授業の対応:小学校9校481人(児童462人、教諭19人)

6 対前年度予算増減説明

体験用資料購入数減による消耗品費の減

根拠法令	博物館法・新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成18年度
------	--------------------	------	--------

平成26年度事業計画書

定款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発			事業・枝事業番号	1-7
事業名	林芙美子関連記念事業			担当課	学芸課
				変更内容	-
目的	新宿区とのゆかりが深い林芙美子の生誕110年記念事業として、全国の林芙美子資料と林芙美子に関する情報を収集、紹介する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
自主財源	1,912	4,670	△ 2,758	大科目	事業費
区補助金	0	0	0	種別	自主事業
経常収益計	1,912	4,670	△ 2,758	(単位:千円)	
事業費	1,912	4,670	△ 2,758		
人件費	0	0	0		
経常費用計	1,912	4,670	△ 2,758		

事業の計画

1 実施内容(予定)

平成23年度に林福江様(林芙美子の姪御様)から頂いた寄付金で、24年度予算において特定費用準備資金として措置済みの資金を充当し、下記の事業を実施する。

林芙美子資料のレプリカ作成

平成25年度の共同企画巡回展で展示される他館所蔵の資料について、林芙美子記念館の書斎をより適切に再現するために調度品・身の回り品のレプリカを作成し、それを展示することで記念館の魅力を高める。また、新宿歴史博物館で所蔵する直筆原稿について、象徴的な数ページのレプリカを作成し、新宿歴史博物館および林芙美子記念館で展示等で活用する。

①尾道市所蔵の書斎にあった調度品・身の回り品(座椅子、筆記具等)

②歴史博物館、林芙美子記念館展示室で展示公開のため活用する直筆原稿

2 成果指標

林芙美子資料のレプリカ作成を着実に実施する。

3 実施上の課題

(1)林芙美子との関係のある他自治体等と連携した情報交換と業務分担を行う。

(2)記念館施設については、新宿区との調整の上補修等を行う。

4 顧客満足度の向上方策

林芙美子関連資料の修復やレプリカ作成を推進し、来館者に公開する。

5 実績

平成24年度

(1) 記念館庭園の竹垣を更新(1,554,000円)

(2) 記念館紹介映像を編集。記録メディアを関係施設に配布(製作委託451,500円 ナレーション謝金20,000円)

6 対前年度予算増減説明

目録作成・展示会終了による印刷製本費の減

【参考】 特定費用準備資金の状況

(1) 資金の名称: 林芙美子生誕110年記念事業準備資金

(2) 活動の実施予定時期: 平成24年度から平成27年度

(3) 積立金額: 10,000,000円

(4) 本事業への充当額: 8,607,500円

平成24年度(決算)2,025,500円、平成25年度(予算)4,670,000円、平成26年度(予算)1,912,000円

(5) 資金残額: 1,392,500円

根拠法令	博物館法、新宿区立林芙美子記念館条例	事業開始	平成24年度
------	--------------------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-8	
事業名	夏目漱石関連記念事業			担当課	学芸課
				変更内容	新規
目 的	平成29年に開館する(仮称)「漱石山房」記念館のプレイベントとして、新宿区とのゆかりが深い夏目漱石の関連事業を実施する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
自主財源	1,281	0	1,281	大科目	事業費
区補助金	0	0	0	種別	自主事業
経常収益計	1,281	0	1,281	(単位:千円)	
事業費	1,281	0	1,281		
人件費	0	0	0		
経常費用計	1,281	0	1,281		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 展示会の開催に向けた事前調査
夏目漱石生誕150年にあたる平成29年に向けて、平成27年度展示会として、熊本近代文学館を中心とし、熊本県、熊本市、五高記念館等との協働企画展「熊本の漱石(仮称)」の開催を予定している。平成26年度はこの展示会開催に向け、事前調査を行う。
- (2) 関連講演会の開催(1-4講座・講演会の開催)再掲
2回 定員60名 1回500円
- (3) 関連史跡めぐりの実施(1-5歴史文化探訪)再掲
1回 定員30名 1回500円
博物館ボランティア史跡部会の企画運営により、(仮称)漱石山房記念館ボランティアの育成を図る。
- (4) 漱石関連図書の購入
現在発行されている漱石関連の図書を購入し、閲覧室で公開する。
- (5) 関連施設視察の実施

2 成果指標

漱石関連の図書の購入を計画的に行い、閲覧室で公開する。

3 実施上の課題

平成29年度に開館する(仮称)「漱石山房」記念館の動向を見守りながら、事業を実施していく。

4 顧客満足度の向上方策

漱石関連図書の閲覧室での公開に関して、区民をはじめ多くの方々に知ってもらうために新宿区と連携して周知活動を行う。

5 実績

-

6 対前年度予算増減説明

-

根拠法令	博物館法	事業開始	平成26年度
------	------	------	--------

平成26年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-9	
事業名	博物館ボランティアの活動支援			担 当 課	学芸課
				変更内容	-
目 的	博物館・記念館等を拠点として、区民との協働と参画による事業を積極的に展開し、新宿の歴史・文化の継承、普及に資すると共に、親しまれる魅力ある博物館づくりを推進する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	120	0	120	部	経常増減の部
区補助金	5,164	5,079	85	大科目	事業費
経常収益計	5,284	5,079	205	種別	補助事業
事業費	1,877	1,673	204	(単位:千円)	
人件費	3,407	3,406	1		
経常費用計	5,284	5,079	205		

事業の計画

1 実施内容(予定)

(1) ボランティアの活動

- ① 展示ガイド…常設展、特別展2回、所蔵資料展4回、の展示案内
- ② 史跡ガイド…歴史文化探訪6回、林氏墓地1回、江戸城外堀1回
- ③ 林芙美子記念館ガイド…林芙美子記念館の案内、内部公開、庭園鑑賞会、落合の追憶等
- ④ アトリエ記念館ガイド…佐伯祐三・中村彝アトリエ記念館の案内、落合の追憶等
- ⑤ 事業サポート…講座補助、閲覧室補助、メンバーズ通信発行、チラシ発送、ガーデニングクラブ等

(2) ボランティアの活動運営

ボランティア全体会 年2回

(3) レベルアップ講座、部会別研修、視察研修(富岡製糸場等)の実施

2 成果指標

ボランティア活動回数/1,900回(平成24年度実績:1,846回)

3 実施上の課題

- (1) ボランティア全体のガイド技術等の向上を図る。
- (2) 博物館事業への積極的な参画を図るとともに、活動の場の提供を進める。
- (3) 自主的活動を支援すると共に、地域の人的資源として位置づける。
- (4) 史跡ガイドボランティアによる選定コース策定を行う。
- (5) 各地域におけるボランティアの主体的な活動をコーディネートする。

4 顧客満足度の向上方策

レベルアップ研修や、バス研修は、これまでのアンケート結果や今後のボランティア活動に必要と思われるテーマを考え、実施する。また、ボランティアの接遇等の研修等も検討していく。

5 実績

平成24年度

	登録人数	活動日数	延べ活動回数	活動内容
展示ガイド	51人	292日	578回	館内ガイド、駅からハイキング、社会科見学等
史跡ガイド	41人	11日	143回	歴史文化探訪、林氏墓地関連事業等
林芙美子記念館ガイド	43人	205日	630回	館内ガイド、内部公開等
佐伯祐三アトリエガイド(中村彝アトリエガイド)	39人	119日	228回	館内ガイド等
事業サポート	47人	108日	267回	レガス子どもクラブ、子ども講座、事務作業等

全体会:3回、延べ参加者数:216人(4月21日、9月16日2月10日)

レベルアップ講座:2回、延べ参加者数:152人(4月21日、6月6日)

部会別研修会:計28回、延べ参加者数:513人

ボランティア登録者数:135人

6 対前年度予算増減説明

ボランティア活動機会増による消耗品費の増

根拠法令	博物館法、新宿区立新宿博物館条例	事業開始	平成15年度
------	------------------	------	--------